



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年10月26日

上場会社名 JCRファーマ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4552 URL http://www.jcrpharm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 芦田 信  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 葉口 明宏 TEL 0797(32)8591  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日 配当支払開始予定日 平成29年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,187	19.4	2,447	78.5	2,469	81.2	1,881	84.1
29年3月期第2四半期	8,534	△2.8	1,370	7.7	1,363	△6.8	1,022	△3.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 1,929百万円 (136.3%) 29年3月期第2四半期 816百万円 (△14.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	59.85	59.49
29年3月期第2四半期	32.31	32.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	38,208	26,603	68.7
29年3月期	36,385	27,585	75.0

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,249百万円 29年3月期 27,305百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（平成29年10月26日）公表いたしました「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想（増配）の修正に関するお知らせ」を参照下さい。

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,400	12.8	3,500	48.2	3,530	39.3	2,650	42.2	85.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」ならびに、本日（平成29年10月26日）公表いたしました「平成30年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値との差異および個別業績の前年実績値との差異ならびに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」を参照下さい。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	32,421,577株	29年3月期	32,421,577株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,685,062株	29年3月期	842,362株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	31,444,365株	29年3月期2Q	31,640,278株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
研究開発品目	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間の概況は次のとおりであります。

主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」は、本年1月に発売した液状製剤「グロウジェクト®皮下注6mg・12mg」とその専用注入器「グロウジェクター®L」の寄与もあり、引き続き売上を伸ばさせました。遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤（腎性貧血治療薬）「エポエチンアルファBS注JCR」および再生医療等製品「テムセル®HS注」も順調に推移し、主力3製品のいずれも前年同期比で増収となりました。

研究開発面におきましては、本年9月29日付でファブリー病治療酵素製剤（アガルシダーゼベータ）のバイオ後続品（開発番号：JR-051）の製造販売承認申請を行うとともに、持続型赤血球造血刺激因子製剤（ダルベポエチン）のバイオ後続品（開発番号：JR-131）の第Ⅲ相臨床試験および独自の血液脳関門通過技術「J-Brain Cargo®」を適用した血液脳関門通過型ハンター症候群治療酵素製剤（開発番号：JR-141）の第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を計画どおり順調に進捗させました。前臨床におきましては、持続型成長ホルモン製剤（開発番号：JR-142）およびJ-Brain Cargo®適応ポンペ病治療酵素製剤（開発番号：JR-162）などの研究開発が進展しております。また、本年7月18日付で帝人株式会社と他家（同種）歯髄由来幹細胞（DPC）を用いた急性期脳梗塞を適応症とする再生医療等製品（開発番号：JTR-161）の共同開発契約および実施許諾契約を締結いたしました。

これらの結果、「グロウジェクト®」、「エポエチンアルファBS注JCR」および「テムセル®HS注」の売上高はそれぞれ、56億1百万円（前年同期比4億26百万円増）、20億98百万円（前年同期比2億73百万円増）および5億86百万円（前年同期比3億24百万円増）となり、また、契約金収入16億25百万円（前年同期比8億99百万円増）が計上されたことにより、医薬品事業の売上高は99億50百万円（前年同期比16億29百万円増）となりました。医療用・研究用機器事業の売上高2億36百万円（前年同期比23百万円増）を合わせた当社グループ全体の売上高は101億87百万円（前年同期比16億53百万円増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増収に伴い売上総利益が75億8百万円（前年同期比15億44百万円増）となりました。また、研究開発費18億12百万円（前年同期比77百万円増）を含む販売費及び一般管理費は増加しましたが、営業利益は24億47百万円（前年同期比10億76百万円増）、経常利益は24億69百万円（前年同期比11億6百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億81百万円（前年同期比8億59百万円増）となりました。

なお、当社は、本年9月21日付で、株式会社メディopalホールディングスとの間で業務資本提携契約を締結するとともに、同日付でグラクソ・スミスクライングループとのバイオ医薬品事業に関する包括契約を改訂いたしました。これに伴い、グラクソ・スミスクライングループがそのグループ会社グラクソ・グループ・リミテッドを通じて保有していた当社普通株式7,986,923株のうち、854,100株については当社が本年9月22日付で自己株式として取得し、7,132,823株については株式会社メディopalホールディングスが、グラクソ・グループ・リミテッドとの間における株式譲渡契約に基づき取得する予定であります。この結果、当社の筆頭株主は、グラクソ・スミスクライングループから株式会社メディopalホールディングスに異動する予定であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は382億8百万円（前連結会計年度末比18億23百万円増）、負債合計は116億5百万円（前連結会計年度末比28億6百万円増）、純資産合計は266億3百万円（前連結会計年度末比9億82百万円減）となりました。

流動資産は、現金及び預金が減少した一方で、たな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ14億65百万円増加して217億81百万円となりました。固定資産につきましては、有形固定資産が減少した一方で、投資有価証券が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億57百万円増加して164億27百万円となりました。

流動負債は、短期借入金および未払法人税等が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ31億16百万円増加して78億23百万円となりました。固定負債は、長期借入金および長期リース債務が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ3億10百万円減少して37億81百万円となりました。

純資産につきましては、四半期純利益を計上した一方で自己株式の取得および配当金の支払いなどにより、前連結会計年度末に比べ9億82百万円減少して266億3百万円となりました。

これらの結果、第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ6.3ポイント低下して68.7%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ10億87百万円減少して、43億77百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況および主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、18億30百万円（前年同期比79百万円の収入減）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益の計上額24億78百万円、減価償却費の計上額6億52百万円があった一方で、たな卸資産の増加額14億17百万円、売上債権の増加額6億93百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、14億7百万円（前年同期比4億40百万円の支出増）となりました。これは主に有価証券の取得による支出6億11百万円、投資有価証券の取得による支出4億48百万円、有形固定資産の取得による支出3億10百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、15億11百万円（前年同期比22億10百万円の支出増）となりました。これは主に、短期借入金の純増額16億円があった一方で、自己株式の純増額26億9百万円、配当金の支払額3億79百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、主力製品である遺伝子組換え天然型ヒト成長ホルモン製剤「グロウジェクト®」の販売が当初予想を上回ったことなどにより、売上高および売上総利益が当初予想に比べて増収増益となりました。併せて、効率的な使用により研究開発費を含む販売費及び一般管理が当初予想を下回ったことにより、営業利益、経常利益および四半期純利益も当初予想に比べて増益となっております。第2四半期累計期間の状況および下期の見通し等を踏まえ、平成29年5月10日に公表いたしました通期の業績予想を次のとおり修正しております。

平成30年3月期通期連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	19,800	2,640	2,650	1,970	62.38
今回修正予想 (B)	20,400	3,500	3,530	2,650	85.24
増減額 (B-A)	600	860	880	680	—
増減率 (%)	3.0	32.6	33.2	34.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	18,085	2,362	2,534	1,863	58.95

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,509	4,422
受取手形及び売掛金	5,434	6,128
有価証券	300	912
商品及び製品	1,757	1,984
仕掛品	1,591	1,851
原材料及び貯蔵品	4,389	5,303
その他	1,332	1,178
流動資産合計	20,315	21,781
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,938	4,746
土地	3,882	3,882
建設仮勘定	31	200
その他（純額）	2,536	2,457
有形固定資産合計	11,387	11,286
無形固定資産	67	124
投資その他の資産		
投資有価証券	3,587	4,078
その他	1,049	960
貸倒引当金	△22	△22
投資その他の資産合計	4,614	5,015
固定資産合計	16,069	16,427
資産合計	36,385	38,208
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	700	718
短期借入金	1,493	3,290
未払法人税等	69	818
賞与引当金	525	635
役員賞与引当金	73	36
その他	1,844	2,324
流動負債合計	4,706	7,823
固定負債		
長期借入金	2,713	2,500
債務保証損失引当金	337	328
退職給付に係る負債	582	598
その他	458	354
固定負債合計	4,092	3,781
負債合計	8,799	11,605

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,061	9,061
資本剰余金	10,964	10,961
利益剰余金	8,149	9,651
自己株式	△1,486	△4,089
株主資本合計	26,689	25,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	569	601
為替換算調整勘定	149	143
退職給付に係る調整累計額	△103	△81
その他の包括利益累計額合計	616	663
新株予約権	279	352
非支配株主持分	0	0
純資産合計	27,585	26,603
負債純資産合計	36,385	38,208

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	8,534	10,187
売上原価	2,570	2,679
売上総利益	5,963	7,508
販売費及び一般管理費		
販売費及び一般管理費合計	4,593	5,060
営業利益	1,370	2,447
営業外収益		
受取利息	10	10
受取配当金	11	14
為替差益	9	7
その他	4	10
営業外収益合計	35	42
営業外費用		
支払利息	14	12
その他	28	6
営業外費用合計	43	19
経常利益	1,363	2,469
特別利益		
債務保証損失引当金戻入額	9	9
その他	—	0
特別利益合計	9	10
特別損失		
固定資産処分損	2	1
特別損失合計	2	1
税金等調整前四半期純利益	1,370	2,478
法人税、住民税及び事業税	370	712
法人税等調整額	△22	△116
法人税等合計	348	596
四半期純利益	1,022	1,881
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,022	1,881



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,022	1,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△126	31
為替換算調整勘定	△105	△6
退職給付に係る調整額	25	21
その他の包括利益合計	△205	47
四半期包括利益	816	1,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	816	1,928
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,370	2,478
減価償却費	696	652
債務保証損失引当金の増減額(△は減少)	△9	△9
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	38	28
賞与引当金の増減額(△は減少)	98	109
株式報酬費用	79	77
受取利息及び受取配当金	△21	△24
支払利息	14	12
為替差損益(△は益)	1	△2
売上債権の増減額(△は増加)	797	△693
未収入金の増減額(△は増加)	△33	268
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,204	△1,417
仕入債務の増減額(△は減少)	57	18
未払金の増減額(△は減少)	387	70
未払消費税等の増減額(△は減少)	△376	126
その他	700	74
小計	2,598	1,770
利息及び配当金の受取額	25	24
利息の支払額	△14	△12
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△699	48
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,909	1,830
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	—	△611
有価証券の売却及び償還による収入	50	—
有形固定資産の取得による支出	△1,042	△310
投資有価証券の取得による支出	△0	△448
その他	24	△37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△967	△1,407
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	100	1,600
長期借入れによる収入	2,000	—
長期借入金の返済による支出	△150	△16
リース債務の返済による支出	△103	△105
自己株式の純増減額(△は増加)	△764	△2,609
配当金の支払額	△383	△379
財務活動によるキャッシュ・フロー	698	△1,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△94	2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,545	△1,087
現金及び現金同等物の期首残高	3,523	5,464
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,068	4,377

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、平成29年9月21日開催の臨時取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、下記のとおり買付けを行いました。

① 自己株式の取得を行った理由

グラクソ・スミスクライングループとの包括契約改訂による同グループの保有株式の処分に備え、また、当社株主への利益還元を行うことを目的とするものであります。

② 取得の内容

- ・取得した株式の種類 当社普通株式
- ・取得した株式の総数 854,100株
- ・株式の取得価額の総額 2,622百万円
- ・株式の取得日 平成29年9月22日
- ・取得方法 東京証券取引所の自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による買付

### 3. その他

研究開発品目  
遺伝子組換え医薬品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J R - 0 4 1 (遺伝子組換え卵胞刺激ホルモン)	臨床 第 I / II 相 試験	不妊治療	あすか製薬㈱へ導出
J R - 0 5 1 (遺伝子組換え α-ガラクトシダーゼA)	製造販売 承認申請中	ファブリー病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法
J R - 0 3 2 (遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ)	臨床試験 準備中	ハンター症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法
J R - 1 3 1 (遺伝子組換えダルベポエチン)	臨床 第 III 相試験	腎性貧血	キッセイ薬品工業㈱と共同開発
J R - 1 0 1 (遺伝子組換え グルコセレブロンシダーゼ)	前臨床	ゴーシェ病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 糖鎖コントロール技術 「J-GlycoM®」採用
J R - 1 4 1 (血液脳関門通過型遺伝子組換え イズロン酸-2-スルファターゼ)	臨床 第 I / II 相 試験	ハンター症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 血液脳関門通過技術 「J-Brain Cargo®」採用
J R - 1 4 2 (持続型遺伝子組換えソマトロピン)	前臨床	成長障害	持続型成長ホルモン製剤 改変型アルブミンを用いた技術 CHO細胞高発現技術 「J-MIG System®」採用
J R - 1 6 2 (J-Brain Cargo®適用遺伝子組換え 酸性α-グルコシダーゼ)	前臨床	ボンペ病 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用 CHO細胞高発現技術 「J-MIG System®」採用
J R - 1 7 1 (J-Brain Cargo®適用遺伝子組換え α-L-イズロニダーゼ)	前臨床	ハーラー症候群 (ライソゾーム病)	酵素補充療法 「J-Brain Cargo®」採用

再生医療等製品

開発番号 (一般名)	開発段階	適応症等	備考
J T R - 1 6 1 / J R - 1 6 1 (ヒト歯髄由来幹細胞)	前臨床	急性期脳梗塞	帝人㈱と共同開発